

2023年2月14日発行

23-07号

（http://www.jremnant.com/）

現場から（最近のニュースから）

**人間関係のルール**

春になると、会社には多くの新入社員が入って来て、人間関係も新しくなるでしょう。いつの時代も、どんなところでも、人間関係は簡単なものではなく、問題が生じることが多いです。それに対して、どうしたら良いのかということをインフルエンサー、へいうさぎ氏の「世界一やさしい仕事術図鑑」からの記事を抜粋して書いたものがありました。

みんなの助けを借りながら成長するためには、多くの人から好かれる必要があるけれど、そうするにはどうしたら良いのかということです。人に好かれるより、「敵をつくらない」ようにすれば良いと言われます。しかし、だれにでも、苦手な人や合わない人がいるはずです。人間関係において「1:7:2」の法則というのがあるそうです。あなたが何をしても合わない人が1 割いるそうです。そして、行動によっては合う・合わないが分かれる人が7割。ただ、何をしても合う人が2 割もいるそうです。これは、人間関係のルールみたいなものなので、だれかの努力不足だということではないと言われています。それゆえ、合わない人がいても「そういう人もいる」と考えるなら、敵にすることもないだろうということです。お互いに嫌いになれば、敵になりますが、相手が嫌うからといって、こちらから嫌う必要はないので、敵にならないということです。

どうしても合わない人に対しては、「なんで、あの人はこんな言い方をするのだろう」と考えたところで、答えは出ないと言われています。なぜなら、「そういう人」だからです。そして、たいていの場合、その人は、こちらのしていることを指摘しているだけで「人格否定」はしていないことに気づくべきだということです。特別なコミュニケーションはいらないので、あいさつを欠かさずして、適度な距離感をキープするようにとアドバイスされています。また、なぜか分からず、不機嫌な人がいる場合があります。そのような場合「私のせいかな」と思う必要はまったくないということです。言われてもいないことを、勝手に想像する必要はなく、言われてもいないのに、わざわざ自分が傷つくことはないということです。（２月９日東洋経済ONLINE＜職場で「敵をつくらない人」が実はやっていること、みんなに好かれようとしなくて大丈夫＞より）

どこに行っても、自分と合う人ばかりではないのですが、たしかに、この記事にあるように考えられるなら、ぶつかり合うことは、避けられるでしょう。しかし、このように考えようとしても、なかなか難しいでしょう。それは「自分と相手」という枠の中で、自分で解決策を見つけようとしているからです。いちど、「自分と相手」の枠から出て、そのような状況になったほんとうの理由を見るなら、自分と相手との葛藤を乗り越える以上の答えが見えて来ます。そんなことはできるのでしょうか。そのためには、まず、自分自身について、正しく知る必要があります。自分の生きている目的、自分がすべきこと、それが分かるなら、どんな相手も、状況も、自分の生きる目的やすべきことは変わることがないので、相手に左右されません。なにがあっても左右されない、生きる目的やすべきことを発見するにはどうすれば良いでしょうか。そのことについてあなたにお伝えしたいのです。

救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になり、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをして、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。

それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。

神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に出会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス･キリストです。イエス･キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してくださり(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(Ⅰヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス･キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。

もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス･キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス･キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを

認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の

神様として受け入れます。私の罪を赦してくださり、私を救ってくださったことを感謝

いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・

キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください